

ふじの温泉

発案者 本館患者様

第18号

2012年7月号

新なごみの里を見学してきました。

念願のソラマメ収穫!!

即席のお疲れ様会

そのときは突然にやってきた。それまでの沈黙をやぶるかのようにソラマメの実がどんどん膨らんでいく。思えば苗を植えたのは二〇一一年の十一月。あれから半年が経ち、努力が報われるときがきたのだ。昨日のとは別人のように頭を垂れているソラマメの茎に皆が驚いた。「いつになったら実をつけるのだろう」と四月までは心配していたが、その不安は一夜にして晴れた。専門家によれば、ひとつの苗から実が沢山取れてもとが取れる”野菜は、ソラマメ意外にないという。なるほどスーパーではソラマメは高級食材の部類に入る代物だ。それが、ひとつ百円ほどの苗から数十個も収穫できるのだから、なんだか得した気分になる。収穫のあとは待ちに待った実食。まずは房から実を取り出す。そして、塩茹でにして食べる。心地よい天気も手伝っていつもより味覚が敏感になり、そらまめのうまみを余分に感じる。長い入院生活に、ひとときのやすらぎを感じる瞬間だ。どの患者様にも思わず笑みがこぼれる。即席のお疲れ様会はみんなの心に、入院生活を送るための力を与えたようだった。(文責 大内)



写真は即席お疲れ様会の様子(旧なごみの里芝生広場にて写す)

二〇一二年四月にオープンした出来たてホヤホヤのなごみの里(老人保健施設)を本館の患者様と見学に行つた。地下一階、地上四階建てで、以前の是に比べて大分大きくなった印象がある。概観は茶色のレンガ調でリハビリ室や理美容室、ボランティア室など多彩な設備となっていた。中でも目を見張るのは大きく取られたリビングだ。きつと入所者様が集い話しに花が咲くだろう。あまりにもきれいな施設で、見学した患者様も「自分もここに入りたい!」と思わず正直な感想をもらっていた…。ご多忙中、見学を快諾して頂いた施設の皆様にも心より感謝したい。



居室見学中の患者様方↑。施設職員の説明を熱心に聴く姿にも関心の高さを感じた↓。



編集後記:

金環日食(写真)に日本中が沸いた。何十年に一度というから宇宙の時の長ささと壮大さを感じる。と同時に、自分の小ささも実感する…。



2012年5月現在図書室

本の冊数は **3480冊**

来場者は **1288名**です。

皆様の寄贈により図書室は運営されています。感謝します。図書寄贈はリハビリ(本7)大内までお願い致します。

月刊本館リハビリテーション新聞編集:本館作業療法課 協力:行事運営の患者様方

この新聞は本館各病棟、本館作業療法室、職員食堂、本館3階受付、運営スタッフ、今月のこの人に合計10枚配布しています。